

緊急消防援助隊の拠点場所実現

次に、平成24年第4回定例会をはじめ、何度か災害時の他県からの緊急消防援助隊の活動拠点場所について質問をさせていただきました。その質問の中で緊急消防援助隊の拠点場所として可能なスペースを市内企業にご協力をお願いし、協定を結ぶことはできないものかと質問をいたしました。その後、早速、市内企業に出向いていただき、本年の第1回定例会で前消防長の答弁の中で、現在、協定書案を策定し、内容を双方で協議をする運びとなつておりますとお答えいただき、先月の22日に市内企業との締結に至つたと伺つております。当局へその必要性について求めた私としては、当局のご努力、そしてご理解を下さった企業へ感謝するものです。そこで、その締結内容と災害時の緊急消防援助隊の拠点場所としてどの程度のスペースを活用させていただけるのかを含めてお示し下さ

締結内容と拠点場所としてのスペースについてですが、市内で地震、その他災害が発生した場合において、緊急消防援助隊の応援を受ける場合に、その活動拠点場所として、市内事業所2社に所有地を提供していただくものです。緊急消防援助隊の応援を受ける場合は、災害の規模によりますが、消防車両など20台から50台程度の受け入れが必要となります。提供していただけるスペースですが、日産自動車株式会社座間事業所は3カ所あります、それぞれ2,430平方メートル、4,410平方メートル、5,200平方メートルでございます。東芝機械株式会社相模工場は、場所が指定されおりませんが、緊急消防援助隊の規模として使用する人数、車両台数、使用面積をこちらから通知することとなつております。

災害時の消防署・消防団との連携



全国消防操法大会初出場の座間市消防団

いつどこで起きてもおかしくないとされております。幸い、本市においては人的被害に及ぶような被害は近年発生しておりませんが、日頃からの対策、備えというものが必要不可欠です。改めて、地域防災力の充実強化が必要と考えます。その一つとして、地震、風水災害などでは家屋の倒壊、道路の陥没などにより、人命救助、復旧作業の大きな障害となります。迅速な対応が求められる中で、その作業にはパワーシャベル等の重機は欠かせません、本年第1回定例会で災害時などの重機の必要性についての質問で、災害時に消防署と消防団の連携を図り、消防団員が保有する重機やダンプを活用できないものかと質

A firefighter in full uniform, including a black cap with a gold emblem, a dark jacket with gold buttons and patches, and blue gloves, stands in front of a red fire truck. He is saluting with his right hand. The fire truck has "消防隊 63" and "消防署" written on it. A small white dog is visible near the bottom left of the frame.

(消防長答弁) 消防団に対して重機などの保有調査の集計についてでございますが、消防団役員会議で消防団員の大型特殊免許及び車両系建設機械の操作資格の確認について調査をいたしました。調査結果につきましては、大型特殊免許取得者3名、車両系建設機械3トン未満4名、3トン以上9名でございます。重機の保有につきましては、12台の報告を受けております。次に、協力・連携でございますが、災害時に効率的な救助活動を実施するためには、重機による障害物除去は有効であり、必要です。団員等が保有する重機及び操作資格を有する団員の協力、連携につきましては、市が締結している座間市建設協会並びに座間工業会との協定も関連性を有することから、有効な活用について関係機関と調整を図り、検討してまいります。

間させていただき、前消防長の答弁では消防団の保有する重機等をどのような形で協力を仰げるのか検討してまいりたいとのことでした。その後、団員に 対して重機などの保有調査を早速行つて頂きましたが、集計が出ていればお示し下さい。また、集計が出ているようであれば、今後それにより、どのような協力・連携を図つていこうとお考えかお示し下さい。

《9月 定例会での一般質問内容》

- 1、子育て行政について
 - 2、公共施設の活用について
 - 3、消防行政について

※詳しくは
座間市ホームページより
市政・まちづくり》
座間市議会》
インターネット中継で
ご覧下さい。

いつでも市民目線！

皆さまのお声をお聞かせください

TEL:046-240-7616

ざまを歩こう ～シリーズVI～

ざまを歩こう第6回。今回は「星谷寺（しょうこくじ）」についてです。小田急線座間駅から徒歩5分のところにある星谷寺。先月18日は12年に1度の「本尊ご開帳」の日でした。本尊を一目拝もうと大勢の巡礼者で溢れ、子供たちの無病息災を願い、座間駅西口付近から星谷寺の仁王門まで紫色の法衣をまとった数十名の住職・僧侶、正装した子供たちとその保護者たちが列をなしてゆっくり練り歩く「稚児行列」も同時に開催されました。

国指定重要文化財の梵鐘や季節はずれに咲く不断開花の桜があることから、七不思議の寺とも呼ばれる星谷寺は、鎌倉時代から続く歴史を垣間見ることができます。お散歩の1コースにいかがでしょうか。